

四日市市幼児教育センター

令和6年8月



センターだより



夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども



四日市市幼児教育センターHP

連絡先 059-333-6002

令和6年度教育・保育施設職員研修を40講座計画していますが、8月9日の研修で前半20講座を実施しました。ここで、実施した20講座を振り返ってみたいと思います。

令和6年度

教育・保育施設職員研修 20/40 講座実施

研修受講後、QRコードを読み込み、アンケート回答にご協力いただきありがとうございます。

I 職層別研修では、主に1年～4年目の保育者を対象に3講座実施しました。どの講座も、子どもを理解し、

子どもと遊びを楽しむためにどうしていくかを考えていきたい内容でした。参加者からは、「子どもの何気ない行動、発言に着目するとすごく深いところにその子の学びや発見や感動があるのだと思った。その子の思いに気づき、その子の気持ちに共感していける保育士になりたい。」「子どもの好奇心をもとにした、それを生かした



保育環境を学んだ。『学びに向かう力』は子どもが『やってみたい』と思う、いわゆる遊びの原動力であり、『知識技能』『思考力・判断力・表現力』とともに一方的なものではなく、関係し合いながら高まっていくものだと知った。」「探索、探究している遊びの、環境設定のポイントとして、『何度も繰り返せる環境』『色々試せる環境』『応答的環境』がある。探索から探究へと向かう3歳以上児では、子どものトキメキは主に『めあて』『こだわり』に変化していくことを知った。ヒラメキやトキメキを進化していく環境を

作りたと思った。」などの回答をいただきました。

Ⅲ 専門研修のG保育力アップ研修では、集合型研修のよさを活かし、講師の先生と共に実践を交えた研修を行い、研修終了後、参加者の皆さんがそれぞれ表情豊かに会場を退出されていたのが印象的でした。参加者からは、「体を動かしながら学べたことで分かりやすかったです。お話も身近にある話もあったので心にグッときました。」「身近なものを使った制作実習も体験することができ、絵本から広がるアートについて楽しく学ぶことができた。」「絵本を導入として使うのではなく、絵本を通して何を伝えたいのかを常に考えながら絵本そのものの時間を子どもたちと楽しんでいきたいと思った。」「紹介していただいた絵本はどれもワクワクするものばかりで、1冊の絵本から自分が印象に残った部分を大切にしながら発展させていきたいと感じた。」などの回答をいただきました。



幼児教育センター職員も皆様と研修を受講し、また、ご回答いただいたアンケートを読ませていただきました。引き続き、今後の研修にご意見を反映できるよう努力し、四日市市の就学前教育・保育の質向上に向けて、共に学び合っていきたいと思っております。

後半20講座、皆様と学びを深めていきたいと思っております。是非、研修にご参加ください。



アドバイザー徒然……

暑い中、園訪問を快く承諾いただき、ありがとうございます。
もうすぐ、9月ですね、教育・保育活動が充実する時期、保育者の皆様におかれましては、夏の疲れをいやし、子どもたちと主体的な遊びを楽しまれることをお祈りしております。

先日、園訪問させていただいた施設にて、子どもたちの「あそびのあと」を発見。子どもたちの生き生きとした遊びが想像できるようなシーンでした。子どもたちが考えたり、イメージを表現しようとしたり、遊びが展開していく中で、好奇心が芽生え、探究する意欲が育ち、学びの芽生えが生まれていることを想像させる「あそびのあと」でした。この子どもの遊びに向き合う姿を小学校へとつなげていきたいと思えます。



きょうりゅうの住んでいる島のような感じです。あちらこちらに、きょうりゅうのたまごがあります。火山も爆発した後のようです。

池に、魚が固まっていた。遊んだ後のまま、魚たちもホッとひと息ついているようです。また、明日子どもたちと遊ぶことを楽しみに待っているのかもしれない。

